



ひらどだい

令和4年度 学校だより 10月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



学びのチャンス

校長 丹波 悟亮

子どもたちは運動会に向けて準備を進めています。ダンス練習は、低学年ブロック、中学年ブロック、高学年ブロックと分かれているため、上の学年の児童が下の学年の児童に振付を教えています。子どもたちは先輩という意識で、優しく丁寧に教えています。また、教わる子たちも、相手の目を見て一生懸命に聞いています。この縦の学年の交流が、お互いの学びにつながっています。教えるためには、自分がしっかりできていないといけません。教えるときには、どのように話すと相手に上手に伝わるのか考えないといけません。動きの見本だけでなく、練習中の態度の見本にもなって、さすが上級生と感じてほしい。いろいろな思いが出てきます。教わるには、分からないところは質問する。できているかどうか見てもらう。上手に踊りたいと前向きな気持ちがわき上がります。そんな児童の姿に触れると、うれしくなります。



運動会準備委員会では、5、6年生が運動会を陰で支えようと、開会式閉会式の運営をする委員会、アナウンス等を担当する委員会、用具係等を担当する委員会、応援で盛り上げる委員会に分かれて、自分の持ち味を生かして、頑張っています。平戸台小学校では、一人一役、みんなが力を出して協力しないと運動会ができません。一人ひとりが主役なのです。

自分の課題に向き合い、それを乗り越えるチャンスが、運動会にはあります。このチャンスを大いに活かしてほしいです。

全力で走る。力いっぱい踊る。その姿が見る人に感動を与えます。それは、その子が自ら学び、成長する姿だからだと思います。保護者の方から、子どもたちへ温かい応援をいただくと幸いです。地域のみなさまには、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も子どもたちの様子を見ていただくことはできず、申し訳ありません。